

【同窓会報告】

62 回生

馬庭 淳

平成 30 年 10 月 20 日(土)、秋の行楽シーズン真っ只中の京都にて開催した、「卒後 30 年 62 回生同窓会」についてご報告します。

今回は幹事の発案で、母校の見学をプログラムに入れました。折しも学園祭「大瑠璃祭」とオープンキャンパスが開かれるということで、秋晴れの中、昼前に京都駅に 5 名の同窓生が集合、山陰線(嵯峨野線)で母校に向かいました。

園部の駅を降りてすぐ、山手に立派な白い建物が目に入り、校門から校舎への坂の途中に“62 回卒業記念樹”を見つけ、一同大いに感動しました。

先生方にご挨拶したのち、校舎を見学させていただきました。学校が当地に移った頃と比べて教室も設備も新くなっており、特に立派な「学生食堂」には驚きました。(当時はカップラーメンの自販機と卓球台だけだったように記憶しています。)。懐かしさが残る中、母校をあとにして京都市内に戻りました。

一次会は矢野さんのお世話で、京都駅近くの居酒屋「すぎはら京都駅前店」にて開催。恩師の先生方はご都合によりお越しいただけませんでした。遠くは東京、長野、高知、広島、佐賀から総勢 17 名が集合！

宴会は兄貴分の山口さんの乾杯で始まり、近況報告では、各人個性の強い内容に笑いが絶えない和やかな雰囲気でお酒も随分進みました。さすがに体型や風貌は年月に逆らえませんが、気持ちは学生時代のまま！大いに盛り上がりました。恒例の香川さんの音頭で中締めをし、清水さんの案内で近くの二次会場「酒房すいしん」に移動。こちらでもお互いの話は尽きず大いに飲み語りました。時間の経つのは早く、まだまだ余韻が残る中お開きになり、次回の再会を約束し、家路につくもの三次会に行くものと、それぞれの一日が過ぎていきました。

私達 62 回生は、いつでも気さくに話し合える間柄です。もうすぐ迎える新しい時代でも元気に集まりましょう。

〔出席者〕

井上克二、上田恵吾、上田つた子、香川裕一、木口幸利、木村保、清水克行、中安直規、松尾喜香、馬庭 淳、水野健治、宮本啓幸、森本美穂、矢野慎輔、山内秀貴、山口光吉、山本浩徳



以上